

# チャリティーコンサート/映画会



2009年3月 14日(土) at 「芸術家の家」  
15日(日)

世界の片隅で起こっている不平等や極度の貧困を見過ごせず、現地の人々の生活向上を支援するのがNGOの仕事です。カンボジア、ケニア、ウガンダで地元の村に根を張って地道に活動する2つのNGOをご紹介します。彼らの熱い思いや努力を共有しながら、心洗われるグラスハーモニカの天上的な響きに時を忘れ、初期アメリカ映画のレトロな味わいをお楽しみいただき、2団体をご支援ください。



カンボジアこどもの家



エイズ孤児支援NGO・PLAS

30年にわたる内戦が続き、人口の半数が15歳以下という極貧国カンボジア。栗本英世氏は1998年よりタイとの国境に近い地雷原の中の町、ポイペトに村の人々と共に藁ぶき屋根の校舎を建て「寺子屋」を始め、エイズ孤児を引き取り、「カンボジアこどもの家」の活動を開始した。現在18村に小学校18校、中学校1校、幼稚園6校の『寺子屋』で6,000名の生徒が学んでいる。  
<http://www.cambodiakids.org/index.html>

HIV/AIDSによって片親もしくは両親を失ったエイズ孤児と呼ばれる子どもたちが直面する問題に取り組む。エイズ孤児が100万人以上いると言われているアフリカのウガンダ共和国、ケニア共和国で活動を行っており、学校建設や農業事業、エイズ啓発活動、ボランティア派遣事業など、現地の人々とともに活動を展開している。国内でもこの問題を多くの人に伝えるため、活動を展開中。  
<http://www.plas-aids.org/>

■ 3/14(土) 第1回 開演14:00(開場13:30)  
第2回 開演18:00(開場17:30)

## グラス・ハーモニカコンサートと講演

講演: 栗本英世/門田瑠衣子  
演奏: 尾西秀勝(グラス・ハーモニカ、ピアノ)/玉井美子(ピアノ)/小塚三喜夫(話)  
モーツァルト作曲 グラス・ハーモニカのための「アダージョ」KV.356ほか

■ 3/15(日) 開演14:00(開場13:30)

## 無声映画の鑑賞会と講演

活弁: 澤登翠<sup>さわとみどり</sup>  
演奏: 鈴木真紀子(フルート)/湯浅ジョウイチ(ギター)  
「散り行く花」(製作:1919年アメリカ, 監督:D・W・グリフィス)



数十ものガラスから10本の指で魔法のような共鳴音を出す幻の古楽器「グラス・ハーモニカ」は、人々にあまりにも不思議がられ、約200年前にヨーロッパで絶滅した謎多き存在。本日本お招きするお二人が使用する楽器以外では日本でもまだ演奏を聴くことができないといふ貴重な神秘的調べを、ピアノ伴奏と共に、楽器の伝説にまつわる興味深いエピソードを挟みつつ楽しくご紹介いただきます。また、豪華なピアノ連弾も組まれています。  
モーツァルトがこの楽器のために書き残した作品は、永らく日本では、生で聴くことのできなかった幻の音楽です。よく聴き知っているはずのモーツァルトがこんな不思議な曲を書いていたと驚かされる、知られざる一面に出会いませんか。  
日本映画は当初、動く写真という意味合いで「活動写真」と呼ばれ、白黒でした。日本には古来から浄瑠璃や浪曲、落語等「語り」で演出する芸能がありますが、「活動写真」にも音声が無かったため、独特の語りで映画の音声部分を担当する「活動弁士」がいて一世を風靡しました。映画の発達と共に「活動弁士」はすっかり姿を消しましたが、この日本独自の映画文化が昨今、世界的に再評価されています。「散りゆく花」は、ロンドンで舞台に、父親の暴力に耐える薄幸な娘と布教のためにやって来た中国人青年の儂い恋を描いた悲劇。数少ない弁士の中でも日本を代表する澤登翠氏の語りとギター&フルートの生演奏で演出されています。  
明治、大正の古き良き日本の映画文化に触

チケット: 3,000円 学生2,000円 全席自由  
主催: 芸術家の家, エイズ孤児支援 NGO・PLAS 協力: マツダ映画社, 日本チエコ友好協会  
※裏面をご覧ください、お電話/メール/FAXにてお申し込みください。

# 幻のグラス・ハーモニカ



グラス・ハーモニカ（アルモニカ）は、1761年に発明された古い時代の楽器であり、天使が鼻歌を歌うかのような幻想的な高周波が、当時のヨーロッパにおいて熱狂的な流行を呼んだ。モーツァルトやベートーヴェンもこの有名な楽器のための作品を残しているほど、当時は至ってポピュラーな話題の存在であり、かのマリー・アントワネットも奏したと言われている。しかし、その不思議な音肌はあまりにも心地良く、麻薬のようにやみつきにさせる魅力をもっており、この調べを耳にすると魂に触れてしまうのではないかという不安を掻き立てる迷信が、どこからともなく広がりだした。催眠術にまで使用されたこの謎めいた楽器のことを人々が怖れる混乱を取り除くため、禁止令が敷かれることとなり、発明されてから約60年ほどで公衆の前から姿を消した。永らく闇の存在であったこの稀代の楽器は、ようやく現代に復讐されたが、一日の目を見てからまだ二十余年

◆栗本英世(くりもと・ひでよ) / 「カンボジアこどもの家」代表  
1951年滋賀県近江八幡生まれ、幼少の頃から自ら働き、家族の生計を賄うという、苦しい生活を体験。10代で福祉に強い関心をもつ。台湾の補仁大学で中国語を学び、ラオス、インドネシア、タイなどで、主に子供たちのための支援活動を行う。1998年より、カンボジアにて『カンボジアこどもの家』を開設。彼の視点は『支援者と支援を受けている人達の関係で、上下関係を作らず、共に生きる活動』であり、厳しい状況の一つ一つ乗り越えて、カンボジアの人々の生活向上に全身全霊で取り組んでいる。非特定営利活動法人モニティ理事長。

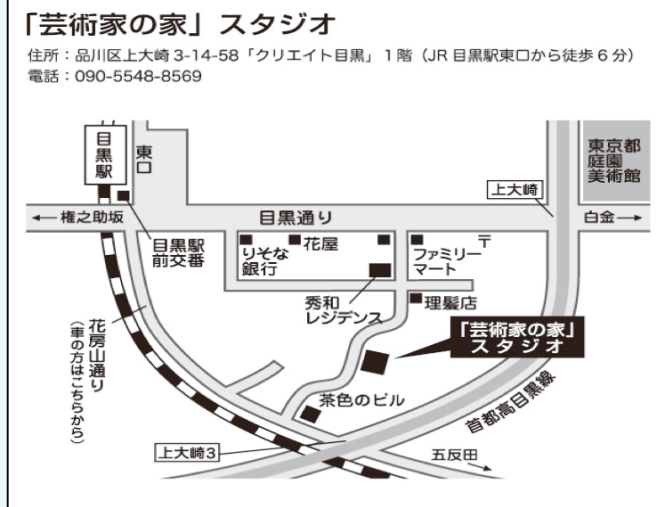
◆門田瑠衣子(もんだ・るいこ) / 「エイズ孤児支援NGO・PLAS」代表  
1981年熊本県生まれ。明治学院大学大学院国際学修士。在学中のケニアでのボランティア活動をきっかけに、2005年にエイズ孤児支援NGO・PLASの立ち上げに携わり、現在同団体事務局長を務める。論文:「アフリカにおけるエイズ孤児—『人間の安全保障』の視点から」が『都市問題』(2007年8月号98巻8号)に掲載。

◆小塚三喜夫(こづか・みきお) / 日本で唯一人のアルモニカ研究者  
ガラス業界における専門家としてアルモニカ(グラスハーモニカ)を見出し、その瞑想的な調べを普及させるべく、日本初の楽器を輸入へと導いたアルモニカの第一人者。海外のアルモニカ奏者やアルモニカ工房の職人と積極的に交流を図り、日本で唯一のアルモニカ研究家として国際的な見識を有する。2000年4月、フィラデルフィアで開催された国際ガラス・ミュージック・フェスティバルに招聘され、日本人として最初に海外の舞台上でアルモニカを演奏した他、忘れられたアルモニカの存在を広く世に認知させる振興活動に献身している。

◆尾西秀勝(おにし・ひでかつ) / 日本で唯一人のアルモニカ奏者  
桐朋学園大学音楽学部作曲理論学科作曲専攻卒業。ピアノを岩崎淑氏、藤井一興氏に師事。幼少の頃に文献で知った謎の楽器アルモニカの調査を手がける中、2007年小塚三喜夫氏に出会う。国内に専門のアルモニカ奏者がいない窮状を打開すべく、その魅惑的な響きを広く紹介したい一心で自らその奏法を身につけることを決意し、2007年秋より氏と共に国内で復興活動を展開。

◆玉井美子(たまい・よしこ) / 国際的に活躍するピアニスト  
桐朋女子高等学校音楽科、ボストン音楽院(学士号、アーティスト・ディプロマ科)、ニュー・イングランド音楽院大学院(修士号)と、輝かしい業績を修め、全米名誉音楽家協会パイ・カップ・ラムダに推薦登録される。1995年帰国後、ソロ、室内楽、オーケストラとの共演、ピアノ・デュオなど国内で多彩に活躍。また、海外の様々な国際音楽祭などに招聘されており、国内外において国際的な活動を展開している。

◆澤登翠(さわと・みどり) / 日本を代表する活弁士  
東京都出身。法政大学文学部哲学科卒業。故松田春翠門下。日本を代表する弁士として1973年デビュー。国内はもとよりフランス、アメリカ他の海外公演を通じて、「弁士」の存在をアピールし高い評価を得ている。「伝統話芸・活弁」の継承者として「活弁」を現代のエンターテインメントとして甦らせ、文化庁芸術祭優秀賞他数々の賞を受賞している。適確な作品解釈による多彩な語り口で、今までに500本以上の様々なジャンルの無声映画の活弁を務めている。著書に『活動弁士 世界を駆ける』がある。



「芸術家の家」スタジオ  
住所：品川区上大崎3-14-58「クリエイティブ目黒」1階 (JR目黒駅東口から徒歩6分)  
電話：090-5548-8569

〒141-0021  
品川区上大崎3-14-58  
(JR目黒駅東口徒歩6分)  
TEL 090-5548-8569(山崎)  
FAX 0422-37-9697  
<http://dum-umelcu.jp/>

PLAS [monda@plas-aid.org](mailto:monda@plas-aid.org) (門田)

## FAX申込み書 0422-37-9697

日時	ご希望を○で囲んでください。		
	3月14日(土)	(1) 14:00~16:00	(2) 18:00~20:00
	3月15日(日)	14:00~16:00	
お名前	( 名申し込み )		
ご住所	〒		
お電話	TEL:		

※ Eメールでお申し込みの場合には、上記の項目をmonda@plas-aids.orgまでお送り下さい。